

用語等の補足説明

◆登録対象について

院内がん登録は、登録対象を『登録を実施する施設での新規の診断患者または他施設で診断されたあと来院した初診患者』としており、登録数とはその登録対象の数を指します。1つのがんについて1回登録を行います。1人の患者に対して複数の独立したがんが診断された場合には、それぞれのがんについて登録します。同じ患者が同じがんで複数の病院を受診した場合は、各病院において、それぞれで登録されます。登録対象として収集を行ったデータは、匿名化されたデータもしくは集計値のみのため、重複の整理は行っておりません。セカンドオピニオンのみを目的とした初診については、2016年診断症例以降は登録対象とはしませんが、2015年診断症例以前は登録対象とするか否かは各施設の判断に任されています。

◆診断年について

初回治療の開始前に、診断のために行った検査のうちがんを診断する根拠となった検査が行われた年が診断年となります。(自施設にて行われた検査だけでなく、紹介元など他施設において行われた検査を含みます)

◆「部位別」の登録部位について

がん登録は原発部位で登録します。原発不明の場合は「その他」に含まれます。

◆症例区分について

登録施設での診断の有無と、登録施設における初回治療の有無の組み合わせにより患者を振り分ける区分です。症例区分80の「その他」は、10~40のいずれにも分類できない場合にのみ用いるため、基本的な集計対象から除外しています。

◆初回治療について

院内がん登録における初回治療とは「当該腫瘍の縮小・切除を意図したがん組織に対する治療のうち、当該腫瘍に関する最初の診断に引き続き行われた腫瘍に対する治療」を意味します。最初の診断に引き続き行われた治療の範囲は、治療計画等に記載された治療とし、経過観察が計画された場合あるいは治療前に死亡された場合は経過観察という行為を初回治療とみなして扱います。

◆来院経路について

自施設以外からの紹介状を持参した場合、宛名が自施設の場合は、紹介者が自施設への受診を選択したと考え、「20: 他施設紹介」、宛名が無記名の場合は、患者が自施設への受診を選択したと考え、「10: 自主的受診」を選択します。

◆総合ステージについて

病期は患者の予後に影響する重要な要因です。そこで、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているとされる術後病理学的ステージを第一優先とし、術前治療が行われた適用外及び術後病理学的ステージが不詳であった例、腫瘍切除を行っていない例では、治療前ステージを用いてがんの治療開始時点での病期を示す指標として、総合ステージを算出しました。

◆治療の件数について

治療開始時点で計画された一連の治療の件数を示しています。治療中・経過観察中に新たに計画され追加された治療などは件数に含まれません。

◆初回治療の組合せの分類方法について

1 手術のみ	8 手術/内視鏡+放射線
2 内視鏡のみ	9 手術/内視鏡+薬物
3 手術+内視鏡	10 手術/内視鏡+その他
4 放射線のみ	11 手術/内視鏡+放射線+薬物
5 薬物療法のみ	12 他の組合せ
6 放射線+薬物	13 治療なし
7 薬物+その他	

◎**手術**：外科的治療と体腔鏡的治療のいずれか、または両方が実施された患者を合算して手術として集計しています。

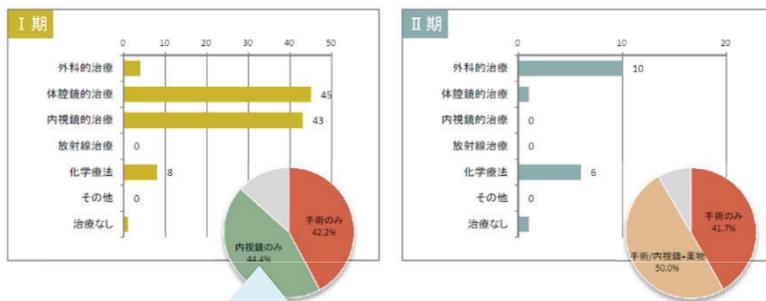
◎**薬物療法**：化学療法、内分泌療法のいずれかが実施された患者を合算して薬物療法として集計しています。内分泌療法には、前立腺癌における除鞣術等も含まれています。

◎**その他の治療**：手術・内視鏡・放射線・薬物療法以外の、腫瘍の縮小・消失を目的に腫瘍に対して行われた治療が実施された患者を合算してその他の治療として集計しています。(免疫療法・BRM、肝動脈塞栓術、アルコール注入療法、温熱療法、ラジオ波焼灼を含むレーザー等焼灼療法、はその他の治療に包含されています。)

UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 の見かた

【棒グラフの見かた】

ステージ別に初回治療の件数を表しています。1つのがんに対して複数の治療を行った場合は、各々カウントされます。例えば、外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合にはどちらの項目にも1件とカウントされます。



【円グラフの見かた】

ステージ別に初回治療の組合せの割合を表しています。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、「手術/内視鏡+薬物」として集計されます。治療の分類方法は、「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 2018年全国集計 報告書」と同様とし、愛媛県全体の集計で10%を超える治療の組合せの項目のみ円グラフに表示し、それ以外はまとめて表示（ラベルなし）としています。また、総合ステージ別件数が10件に満たない箇所では円グラフそのものを表示していません。

胃がんのStage Iであれば、愛媛県全体集計で割合が10%を超えているのは、「手術のみ」、「内視鏡のみ」の2つのため、この2つのみ円グラフに表示し、残りの治療法はまとめています。

【7.部位別 UICC TNM ステージ別治療の件数で表示される円グラフの一覧】

	0期	I 期	II 期	III 期	IV 期
胃		手術のみ	手術のみ	手術のみ	薬物療法のみ
		内視鏡のみ	手術/内視鏡+薬物	手術/内視鏡+薬物	手術/内視鏡+薬物
		手術+内視鏡			経過観察
		経過観察			
大腸	手術のみ 内視鏡のみ	手術のみ	手術のみ	手術のみ	手術のみ
		内視鏡のみ	手術/内視鏡+薬物	手術/内視鏡+薬物	薬物療法のみ
		手術+内視鏡	経過観察	手術/内視鏡+放射線+薬物	手術/内視鏡+薬物
		経過観察		経過観察	経過観察
肝臓 (治療前規約)		手術のみ	手術のみ	手術のみ	薬物療法のみ
		薬物+その他	薬物+その他	薬物+その他	経過観察
		他の組み合わせ	他の組み合わせ	他の組み合わせ	
				経過観察	
肺	手術のみ	手術のみ	手術のみ	手術のみ	放射線のみ
		放射線のみ	放射線のみ	放射線のみ	薬物療法のみ
		手術/内視鏡+薬物	手術/内視鏡+薬物	薬物療法のみ	放射線+薬物
		経過観察	経過観察	放射線+薬物	経過観察
乳房	手術のみ 手術/内視鏡+放射線 手術/内視鏡+薬物	手術のみ	手術のみ	手術のみ	薬物療法のみ
		放射線のみ	放射線のみ	手術/内視鏡+薬物	
		薬物療法のみ	薬物療法のみ	手術/内視鏡+放射線+薬物	
		手術/内視鏡+放射線	手術/内視鏡+薬物		
前立腺	手術のみ 放射線のみ 薬物療法のみ 放射線+薬物 経過観察	手術のみ	手術のみ	手術のみ	手術のみ
		放射線のみ	放射線のみ	薬物療法のみ	薬物療法のみ
		薬物療法のみ	薬物療法のみ	放射線+薬物	放射線+薬物
		放射線+薬物	放射線+薬物	手術/内視鏡+薬物	
子宮頸部	手術のみ 手術/内視鏡+その他 他の組み合わせ 経過観察	手術のみ		放射線+薬物	
子宮体部	手術のみ 手術/内視鏡+薬物	手術のみ	手術/内視鏡+薬物	手術/内視鏡+薬物	

(愛媛県全体集計の割合が10%を超えている初回治療)